

令和5年度 県立筑波高等学校学校関係者評価表

評価項目	評 価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・生徒アンケートの「先生が教材や教え方を工夫している」について、否定的な回答が0%であるのは、本当に素晴らしい。 ・全体的に、肯定的な回答が60%以上であるのは素晴らしい。進路指導については次年度への課題が多いと思うが、ICT等を活用して、就職活動に生かしてほしい。 ・筑波交流センターは、筑波高生の利用が多いが、利用態度は良好である。生徒指導の成果であると思う。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・生徒に合わせた目標を設定している。 ・具体的な目標がよく構築されている。特に教科指導において、ほとんどの教科で基礎知識の定着のための対策がよく練られている。ICT等を効果的に活用して、学力が向上することを期待している。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☐ A 十分把握している ☒ B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・現状の分析結果をもとにした適確な課題設定だと思う。 ・各科目・項目ごとに課題をよく把握されている。1・2学年ともに、生活面・学習面に関しても基礎基本の定着に加え、さらにステップアップしたスキルを身に付けられるよう、先生方の指導に期待する。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☐ A 適切である ☒ B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・現状をよく理解し、今学校に求められている課題に対し、適切に対応していると思う。
5. 特色ある学校づくりに取り組んでいるか	☒ A 十分取り組んでいる B おおむね取り組んでいる C あまり取り組んでいない D 取り組んでいない	・筑波高校ならではの特色ある学校づくりに取り組んでほしい。来年度新設予定の3つの部活動にも魅力を感じる。とても良いアイデアである。 ・「つくばね学」を通じて、地域の歴史や特徴を探究しながら、地域活動に貢献している。 ・「進学アドバンストコース」の新設は非常に良い取組。資格取得やインターンシップに一層力を入れることで、生徒たちが自分の将来についてより具体的に考えるきっかけになることと思う。さらなる飛躍に期待している。 ・「進学アドバンストコース」の充実に努めて、新たな課題に向けて頑張してほしい。

